

みどりの食糧システム戦略に取組み、 地球環境にやさしい農業を実現しましょう

みどりの食糧システム戦略とは、農林水産業に伴う温室効果ガスの放出や化石燃料由来の肥料の使用量を減らすといった環境負荷の低減策が中心となっています。

水田からのメタンガス排出は国全体のメタンガス排出量の約 4 割を占めており、通常行われる中干し期間を 7 日間拡大することにより収量への影響を抑えながらメタンガス排出量を 3 割削減できることが確認されています。

有効茎数 (20~25 本) が確保できたら、下記表を参考に中干し管理をしていただき (2 週間程度)、中干し終了期限後には入水管理をお願いいたします。

令和 5 年産 生育予測表 (7 月 14 日現在)

品種	移植日	中干し開始日 (目安)	中干し終了期限	幼穂形成期
あきたこまち	4/10	5/29	6/9	6/13
	4/15	5/31	6/11	6/15
コシヒカリ	4/10	6/1	6/18	6/22
	4/20	6/5	6/23	6/27
あいちのかおり	5/10	7/1	7/25	7/29
	5/20	7/10	7/29	8/2

※中干し開始日に有効茎数が確保できていない場合は湛水管理を継続してください。

※土壌が乾きすぎる場合は、中干しを中断し入水してください。

※日平均気温が 20℃以下の低温が続くことが予想されるときも中干しを中断し、

冷害防止のため、深水管理として株元を保温してください。

※天候により中干し時期が変更になる場合がありますので、

J A あいち海部のホームページにて掲載いたしますので、ご確認ください。

